

幸手市はベナン共和国のホストタウンです！



深く考えさせられる歴史のあるウィダですが、帰らずの門が建てられているギニア湾沿いをトーゴ方面に進むと、ビーチでのんびりできるリゾート施設「カサ デル パパ」があります。レストランも併設されているので、休日にはいけば美味しい料理を楽しみつつ、海を眺めながらゆったり過ごせます。

かつて多くの奴隷が貿易船に運び込まれたウィダ沿岸には、現在、「帰らずの門」が建立されています。門の脇にある銅のモニュメントは、奴隷として手錠をかけられて港までの距離を歩かされた人々の記憶を、門上部に描かれている絵は、「奴隷の道」と呼ばれる港までの長く酷く厳しい道を歩かされた記憶を表しています。

物語る「帰らずの門」 La Porte de Non-retour

昔から体格の良かったベナン人は、重労働に従事させる奴隷には適していると考えられ、男性だけでなく、女性や大きく成長しそうな子どもまでもが船に乗せられました。その船上は、寿司詰め状態の劣悪な環境だったため、目的地到着前に多くの人が亡くなり、航海を続けるため、多くの遺体が海に葬られたといわれています。



奴隷海岸から内陸に4kmほどのところ、19世紀に初めてベナンに来航したカトリック宣教師によって建設されたベナン最古の教会の向かいに蛇寺は付んでいます。

西アフリカギニア湾沿岸に位置し、国土面積(11万2622平方キロメートル)は日本の約3分の1で、人口は1180万人(2019年/世界銀行)。首都はポルトノボで、公用語はフランス語です。ベナンの国旗の色には意味があり、緑が復興への希望、赤が先祖の勇氣、黄色が国富をもたらす吉兆を象徴しています。

ベナン共和国ってどんな国

お寺の敷地内には、蛇の神様が祀つてある小さな本堂らしき建物があります(最近補修を行いました)が建造物が古いため、中に入ることはできません。この本堂では、蛇にお願い事をしたいのだそうですが、良いことだけを祈ってはいけないのだとか。祈る文化は日本のお寺や神社の参拝時と似ています。長い間蛇遣いの役割を担っているのは、純粋なウィダを出自とする家系です。神聖な動物である蛇は、神としてあがめられているので、「死」という概念がないとされていますが、やはり生き物なので生の期間が終わると、蛇遣いたちの責任の下に埋葬されるそうです。夜間、蛇たちは食事をするために街に放たれるのだそうです！

Bonjour! Bénin!

ベナンを旅する 「特別号」

ウィダ 「Ouidah 地区」の 歴史を知る History

17世紀にフォン族を中心として形成されたダホメ王国は、周辺国を征服し、奴隷貿易の支配権を掌握し、コトヌから西方約30kmのところに位置するウィダ沿岸に、「奴隷海岸」と呼ばれる奴隷貿易の基地を築きました。

「奴隷海岸」と呼ばれた 奴隷貿易の基地

Bonjour! Bénin!



幸手市出身の 鈴木佑未 さん なぜ 日本を離れて、ベナンに？

外国語を使って海外で働きたいという思いを叶えるため、在外公館派遣員制度に応募したところ、フランス語圏で縁があったのがベナン共和国でした！

まさかアフリカ大陸で働くことになるとは思ってもみなかったですが、ビザがなくては滞在できない国で2年も過ごせることを前向きにとらえ、思い切って派遣員に挑戦することにしました！！



ひえ〜〜〜！
ひんやり…
やわらかずっしり…

経歴

長倉小学校・西中学校・高校・大学を経て、2020年3月から在ベナン日本国大使館に派遣員として赴任中

コロナ禍の中、蛇寺で首に蛇を巻く！？

シルバーウィークに蛇寺を訪れ、勇気を出して蛇を首に巻いてきました！蛇がじっとしていた建物の中が暗く涼しかったからなのか、蛇の身体はひんやりしていて、触感は少し柔らかめ…。首に巻くと少しズッシリきて、不思議な感覚…。首に蛇を巻くことは浄化の意味もあるそうなので、その効果に期待しようと思います！（笑）

From Benin To Satte 市民のみなさんへのメッセージ

私がベナン共和国に赴任することになりましたのも、東京オリンピック・パラリンピック競技大会でベナン共和国のホストタウンである地元・幸手市とのご縁があったからこそだと思っています。

毎月『ベナンを旅する』を通じ、大会でベナン共和国の選手団を迎える幸手市のみなさんにも、より身近に感じていただけるよう努めますので、今後もぜひ『ベナンを旅する』にご注目ください。

また、当館フェイスブックページでは、ベナン共和国の情報だけでなく、フランス語で幸手市に関する記事も発信しております。ぜひご覧ください。

From Benin To Satte 幸手市に暮らす家族へのメッセージ

コトヌマラソンへの参加と、ベナン人とバスケができるようにがんばります！波瀾万丈な人生を歩みがちですが、これからも見守っててください♡

日本のはるか遠くに位置するベナン共和国(コトヌ)までは、飛行機でフランス(パリ)を経由して約24時間、その距離約13,165km。幸手市はそのベナン共和国のホストタウン(2018年8月31日に第9次登録)として、在ベナン日本国大使館の協力の下「ベナンを旅する(本紙23ページ)」を掲載しています。

協力/在ベナン日本国大使館



蛇を祀った「蛇寺」 Le Temple Python

ベナン発祥の宗教ブドゥー教において、神聖な動物とされている蛇。人間に危害を与えるような行動も鋭い歯などもないため、安全な動物であると考えられています。神聖かつ安全な蛇なので、怯えたり嫌がりしてはならないのだとか…！